

7

特別な方法

●シリンジポンプ法

hMG/rFSH注射の卵巣刺激を注射器を使用せず、シリンジポンプという装置を用いて、より自然分泌に近い方法で排卵誘発を実施する方法。

良い点	考慮すべき点	費用
卵巣反応が弱い方に最適。	シリンジポンプ使用に費用が必要。台数に限りがある。使用時間の2～4時間装置を身につける必要がある。	シリンジポンプ使用代 (1回ごと)¥2,473(税別)

●スプリット法

rFSH製剤の自己注射キットを使用し、自然の下垂体FSH分泌に近い一定時間間隔をもって注射を投与する方法。

良い点	考慮すべき点	費用
卵巣反応が弱い場合でも刺激量を増やさずに注射投与回数を分けることで反応を期待できる。	rFSHの自己注射キットは高額である。1日2～3回の注射回数が必要。	フォリスチムベンカートリッジ 300単位 ¥23,146(税別) フォリスチムベンカートリッジ 600単位 ¥38,146(税別) フォリスチムベン本体 ¥1,000(税別) ゴナール450単位 ¥30,000(税別) ゴナール900単位 ¥56,000(税別)

●GH法

卵巣刺激に成長ホルモンの使用を加える方法。

良い点	考慮すべき点	費用
排卵誘発剤やhMG/rFSH注射では卵巣反応がない場合でも卵胞成長が期待できる。	成長ホルモンの費用が高額である。	¥8,564(税別)(1本)

●アロマターゼ阻害剤法

乳癌の治療に用いるアロマターゼ阻害剤がエストロゲンの酵素反応を抑制することから、アロマターゼ阻害剤を排卵誘発剤に応用する方法。

良い点	考慮すべき点	費用
子宮内膜への影響が少なく、低コストで、OHSSのリスクも少ない。	クロミフェンやhMG/rFSHと比較して卵巣刺激が弱い。	¥500(税別)(1錠あたり)

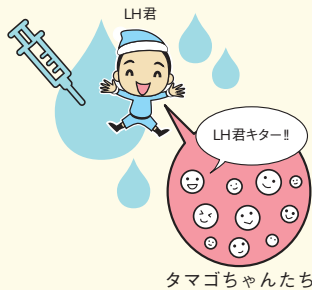
●hMGスプレー法

通常は注射にて投与するhMG製剤を点鼻薬にし、鼻腔粘膜から吸引する方法。ご希望の方は採卵前周期までに医師にお伝え下さい。

良い点	考慮すべき点	費用
注射に通院でさえず自己注射も不可な場合有効。	鼻腔粘膜からの吸収は数%しかできないため効果は不安定である。	¥14,282(税別)

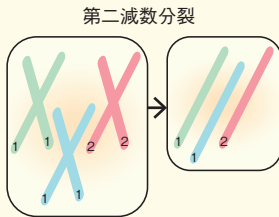
LHサーージ誘起について

採卵時に卵子を成熟させ受精能力を持たせるためには、卵子の第二減数分裂を再開させることで受精の準備をします。このために必要なのがLHサーージです。



タマゴちゃんたち

卵はLHサーージを受けて第二減数分裂を再開



第二減数分裂を再開することで受精準備を開始



採卵され成熟した卵子には受精能力が備わっている

LHサーージ誘起から採卵まで36～40時間

「リュプロアセテート法」は最も自然に近いLHサーージを起こすことができるため、OHSSや早期黄体閉鎖のリスクが少ない方法です。

	LHサーージの確実性	来院実施	自分実施	リスク	費用(税別)
リュプロアセテート法	高い	○ 21:30	—	なし	院内 ¥3,500
hCG法	高い	○ 21:30	○*1 22:00	① OHSS*2を完全には回避できない ② 早期黄体閉鎖を起こし卵子の変性が起こる場合もある	院内 ¥0 持ち帰りHCG注射 ¥500(非課税) 注射器¥282(税別)
スプレキュア点鼻法	低い	× 1回目 22:00 2回目 23:00	○	① 点鼻法は吸収が不十分でLHサーージを起こせず空胞になる場合もある*3 ② OHSS*2を完全には回避できない	持ち帰りのみ ¥5,000

- *1 hCG法の自己注射は注射針でアンプルから液を注入するなど看護師同様の行為が必要なため、事前にWEBにて「IVF個別案内・自己注射練習」をご予約ください。
- *2 OHSSとは卵巣過剰刺激症候群といい、排卵誘発剤を使用することにより卵巣が過剰に反応する状態です。卵巣が腫れ、血管から水分が逃げ出し、腹水や胸水などが体の中に溜まります。
- *3 空胞とは採卵しても卵子がとれなかった場合に使われる表現方法です。卵子は卵胞の中で顆粒膜細胞に包まれて存在しており、LHサーージによって卵胞壁から顆粒膜細胞と一緒に剥がれるため、採卵時に針を刺すことで顆粒膜細胞と一緒に卵子を吸引できます。しかしLHサーージが起こらないと卵子の成熟が進まず顆粒膜細胞が卵胞壁から剥がれないため吸引時に採卵できないことがあります。結果卵子未回収となり空胞の原因になります。空胞の原因としては他にもあり、加齢による卵の異常で卵胞の中に卵子が存在していないということもあります。